

佐渡生きものの語り 作品集 2021





朱鷺と暮らす島 生物多様性佐渡戦略 キャッチコピー

佐渡でふれあういのちのつながり 〜人とトキが暮らす島を孫の世代へ〜

みなさんは「生物多様性」という言葉を知っていますか？
生物多様性とは「生きものたちの豊かな個性とつながり」のことです。

私たち人間は、地球という大きな生態系の一員であり、私たちの暮らしは、様々な生きものが関わり合い、得られる恵みによって支えられています。

佐渡の豊かな自然や文化を保全・再生し、佐渡で生まれた多くの生きものと私たちが共生する環境を後世に渡って継承していくために、佐渡市では、平成24年6月に「トキと暮らす島 生物多様性佐渡戦略」が創られました。

佐渡の生物多様性を「知る・守る・使う」ことで、自分たちの子供や孫の代まで繋いでいく取り組みです。

「トキと暮らす島 生物多様性佐渡戦略」より

「佐渡生きもの語り」について

佐渡では、「トキが餌に困らないように」を合言葉に、田んぼに生きものが増える工夫をした米づくりに取り組んでいます。これが「朱鷺と暮らす郷」認証米です。

認証米を始めてからは、田んぼに稲の様子を見に行ったとき、生きものにも目が行くようになったとおっしゃる農家さんは、「前より生きものが増えてきたんだよなあ」と嬉しそうな様子でした。

認証米農家は毎年2回、自分の田んぼの生きもの調査をして、記録を残しています。そしてもう一つ、より多くの方たちに田んぼで暮らす生きものを知ってもらうために、川柳や写真、イラストなど自由な表現方法で、佐渡で見つけた生きものたちのことを語る「佐渡生きもの語り」の取り組みを続けています。

ここに作品を寄せてくれるのは農家さんだけでなく、地元の学生さんや佐渡に来てくれた観光客の方、それから田んぼの環境学習の生徒さんなど様々です。皆さんが、トキがいて、色々な生きものがある、この佐渡のすばらしさを表現してくださいました。

さあ、「佐渡生きもの語り2021」を、どうぞご覧ください！



Photo. S.Saito

川柳部門
グランプリ作品

田のトキが
去るまで待とう

野良仕事

三木首相

(愛媛県)

【選考委員より】

水田で採餌するトキが飛び立つまで野良仕事を止めて待っている様子が目に浮かびます。トキを優しく見守る佐渡の農家の方々の心の温かさが伝わってきます。

準グランプリ作品

田が写す
落日の空
朱鷺色に

牛島忠弘

(長野県)

【選考委員より】

佐渡の田園風景、田植え前の水を入れた水田の夕暮れ時、巣に帰っていく朱鷺と夕陽のコントラストが目には浮かぶようです。



「トキがきて てんやわんやの ビオトープ」

中年やまめ (神奈川県)

【選考委員より】

「てんやわんや」という表現で、トキがビオトープに降り立ったことでビオトープ内で起きている、追うトキと追われる生きものの、深刻なドラマのような場面が、ユーモラスに表現されているようです。通常、ビオトープは生きものが育まれる静かな水辺でしかないのに、その中ではたくさんの生きものがいて、豊かであたたかみのある世界がつけられている、そんな空想の世界が目の前に浮かんで心豊かな気持ちになる作品でした。

準グランプリ作品



「密さけて マスク外して たらい舟」

角森玲子 (島根県)

【選考委員より】

with コロナ時代のルールを守り、佐渡固有の資産たらいぶね(はんぎり)を楽しんでいる様子が解り、佐渡の自然環境の良さが伝わる良い句です。

川柳部門ノミネート作品

※ノミネート作品とは

選考委員により全応募作品から選ばれた作品です。これらノミネート作品から、認証米農家、寄らんか舎、エコープ羽茂店の来店者による投票でグランプリが選ばれました。

サドガエル 起きろ田起こし 始まるちや
 トラクター アマサギの群れ 先導し
 まどの外 車とかけっこ 赤とんぼ
 トキドキは トキを見ている 農作業
 目の前の トキに一瞬 時止まる
 あみを手に わが子と見守る コモリグモ
 子供達 虫ファーストの 農作業
 田のトキが 去るまで待とう 野良仕事
 生きものと 人が育む 佐渡の地よ
 田が写す 落日の空 朱鷺色に
 サドカエル 三反五畝に 父の意地
 生きものが 教えてくれる 先のこと

風見子
 小林健二
 小林咲喜
 さいがわW
 しなやかーる
 たけ
 北斗
 三木首相
 雨かたつむり
 牛島忠弘
 小見伸雄
 聡太

川柳部門 応募作品

夕映えに 肩にとまりし 赤トンボ 一刀両断
 日がしずむ 揺らぐ海面 浮かぶ雲 イニ
 人間と 自然が共存 いい島だ 井上隼羽飛
 水がきれい 島全体が 喜んだ 井上隼羽飛
 農薬を 生物のために 使わない 井上隼羽飛
 山登り 苦労の先は 達成感 色白トマト
 江の設置 仲間作りに トキ集う 飯田修
 トキ飛んで 見上げる空は 黄金色 飯田修
 トキ米の 稲穂刈ってと 舞いおどる 飯田修
 砂浜に ちらばる貝は 星のよう アオイ
 あぜ道に 佐渡生きものの 息づかい あおいそら
 空の彼方 美しく舞う 佐渡のトキ 青式部

周りにいる生きもの
 を調べてみるの
 じゃー！



ドクター イキモン

生物多様性ポイント①

「佐渡市生きもの調査の日」

佐渡市では、佐渡の生物多様性豊かな環境を、市民一人ひとりが理解するために、平成22年6月に「佐渡市生きもの調査の日」を宣言し、毎年6月第2日曜日と8月第1日曜日に、全島で田んぼの生きもの調査を行っています。

農家だけでなく、子ども達や市民も参加し、佐渡の環境を支える「小さな命」に目を向ける取り組みです。

空を舞う 朱鷺の姿が まなうらに 佐渡に生まれて 放されし朱鷺 あやめ
三十年前 もらいし佐渡の 甘草の花 ことしも咲けり 鮮やかな黄 あやめ
豊かなる 人も優しき佐渡島 妻と乗りたる たらい舟かな 岩田勇
おけさ柿 ふつくら頬が 実ってく 時代を綴った 古の菓子 いにしえ ガオ
サドマイマイ 殻の中から 見える世界 棚田の緑と 海岸の青 かめ太郎
草刈りを する手を止めて ならめっこ 笑うと負けよと 鳴くサドガエル かめ太郎
白い羽根 まあるいお目目に 朱い顔 あか 渡れば会える？ いつの日か 小林華和
暑き日に 溟海 めいかい 偲び 落暉かな 孤高に耽る 友誼 ゆうぎ 儂さ 種
母が手を 離れた 自転車のやうに 自由な空へ トキ羽ばたけり にじのいろ
トキの空 仰ぎコロナの なき明日を 信じたいなと 母の呟く 松下弘美
水田に 佐渡の夕日の 落ちてゆく 蛙はトキを 呼ぶように鳴く 松下弘美
天空の トキも俯瞰の 佐渡金山 往時を偲ぶ 悠久ロマン 柳谷益弘
着ぐるみの 長いくちばし サドッキー 羽をひろげて 別れの ツーショット 横山美智子

四百羽の 朱鷺を見守る 佐渡の田は 農薬減らして 稲の穂たわわ 横山美智子
サドガエル 田に鳴く トキがよみがえる (サドガエル 他になく 時がよみがえる) あたなごっち
おけさ笠 紅い蹴出しの 船頭は たらい舟こぐ 今も絵皿に 横山美智子
コブダイの 成魚と幼魚 違いすぎ 成魚ユーモラス 幼魚スマート 海神瑠珂
守らねば 佐渡の名冠す 固有種を 独自に進化す 地球の宝 海神瑠珂
もし生まれ 変われるならば 是非トキに 遠ざかりたい 絶滅からは 海神瑠珂
黄金色 輝くバスで 岬まで 両手を広げ トキが迎える 井上靖
「ごはんだよ」 遺影の口に 箸運び 妻と味わう 寒ブリの味 井上靖
へ朱鷺と暮らす郷で 作った 塩むすび 土手に座って 友と頬ばる 臼井慶子
迷ひ鳥 ならず佐渡を 目指し来たり 冠誇らしく 戴勝 遠藤玲奈
鷺ら憩ふ 田に鶉らも降り立ちて 鳥の苦楽を 分け合ひてをり 遠藤玲奈
万葉の 山桑春を忘れざり 日和の佳きを 悟りて芽吹く 遠藤玲奈
緑色の Zの形の リボンになり 日本列島 かざる佐渡島 横道玄

虫たちに マスクいらんか 島の声 川村玲子
 虫たちも 島の人口 住まう人 川村玲子
 島移住 妻が妬いてる 虫たちに 川村玲子
 住み心地 いかがですかと 朱鷺に問う 拓ちゃん
 鳥も樹も 花もイキイキ 暮らす島 拓ちゃん
 陽が西に 朱鷺はゆったり 巣に帰る 拓ちゃん
 夫婦岩 性格差なき 世へと佐渡 茶の花
 断崖に 根を張るイワユリ 佐渡魂 茶の花
 夫婦岩 夫婦喧嘩は いカンゾウ 茶の花
 皆さんが 生きもの係 それが佐渡 中年やまめ
 花の島 平和な 38度線 中年やまめ
 朱鷺が舞い 里山保全 パトロール 渡部佳朗
 オレンジの 夕陽重なり 朱鷺が飛ぶ 働き蜂ちえちゃん

佐渡が島 日本のふるさと 懐かしさ 姫野俊治
 トキが舞い 水辺に憩う 美しさ 姫野俊治
 生き物が 楽しく密に 憩うところ 姫野俊治
 ちよつとしたブーム喜ぶ サドガエル 幅茂
 ニッポニア ニッポン習った 小学校 幅茂
 パラダイス 朱鷺や鳥たち 謳歌する 幅茂
 いつの日か トキを戻そう 野生へと 北森大基
 凜と飛ぶ トキにあこがる コロナ禍で 北野浩子
 千枚田 ほんに何枚だ トキに問ふ 廣木信子
 梅雨空に サドマイマイの したり顔 廣木信子
 幸多き 佐渡の恵みは 金メダル 小野史
 明日に喝 米も野菜も 佐渡育ち 小野史
 ふるさとの 佐渡を丸ごとまるかじり 小野史

生物多様性 ポイント②
 「GIAHS(世界農業遺産)」
 後世に残すべき生物多様性を保全している農業上の土地の使い方や景観について、FAO(国連食糧農業機関)が認定するものです。
 佐渡市は、生きものを育む農法や、各農村集落に継承されている伝統芸能などが評価され、平成23年に石川県能登地域と共に日本で初めて認定されました。



生物多様性 ポイント③
 「朱鷺と暮らす郷認証米」

佐渡では、農薬や化学肥料を少なくし、環境に配慮した米作りをしています。中でも、朱鷺と暮らす郷認証米は、田んぼとその周囲に生息する生きものの環境を作り出す「生きものを育む農法」により栽培されているお米です。



むかしむかし 山口県から 佐渡島へ わらじを持った 寝太郎が行く 横道玄
早苗田に 天赦の光 なかんずく 佇む朱鷺の 鶉色の羽に 瀬戸内光
逆を向き 一茎に咲く かんぞうの 花らは互いの 在るを知るなく 瀬戸内光
しずごころしばらく給え今朱鷺が鶉色の羽うちかわしいる 瀬戸内光
ニッポニア・ニッポンちいさな島国の 名前を背負う美しい鳥 村上なぎ
妖精が 住んでいそうな 杉の森 巨木奇木が お出迎えする 夢追い人
カタクリや シラネアオイが 咲き誇る 金北山は 花の宝石 夢追い人
田んぼにも キタノメダカが 住んでいた 密になるほど 増えて欲しいな 夢追い人
島の盆 久しい顔が 下船する 右手土産に 左子連れ 利長さだお
秘話ひとつ ふたつもあるや 佐渡の島 廃坑跡の 草木の茂る 利長さだお
民謡に 誘われし佐渡の 宿贅に 贅なる山 海の幸 利長さだお
名月や 光あふるる 佐渡ヶ島 梅村静代
コロナ禍を朱鷺のつばさに祈りつつ 天仰ぎ見る 村雨の松 梅村静代

トキ色に 染まる東雲しのめ 佐渡美しうま

エヲリア

全身で 羽を広げる 佐渡のじまん

オーセイ

全力で 野原かけめぐる 子どもたち

オーセイ

えんせいで とき、むし、食べ物 思い出す

おれ

青い空 海のおとね 同じ色

粕川芽吹

雪が降る 佐渡にはやっぱり トキだなあ

粕川芽吹

晴れた日に ここから見える 佐渡が島

粕川芽吹

見逃すな 解き放たれた トキの舞い

かたこりこ

時を超え トキを見ている 時が好き

かたこりこ

トキが舞い ただそれだけで 街の顔

かたこりこ

時の顔 出会うと嬉しい トキの舞い

かたこるよ

今日も舞う つがいのときの 安堵感

かたこるよ

会いに行く 時を戻そう トキの森

かたこるよ

歳押しして 来てよかったー ありがとう
人々に だせぬ音色の 奏でる夜
竹林で ついついさがす 光る竹
佐渡情話 お弁の想い トキとなり
天空の 恋を見守る 佐渡島
天の川 揺れる水面に つぶて打ち
時と場所 それを言うなら 朱鷺と佐渡
緑田を おけさに合わせ トキが舞う
コロナ下も アカネが密に 飛び回り
コロナ下も 田んぼのエサは 密に生き
アマガエル 夜通し歌い 雨招く
草を刈り また草を刈る 夏の朝
朝夕は 涼しいはずが 汗まみれ

カツオ武士

金川智希

樺澤智世

鎌田誠

カラスの行水

カラスの行水

カラスの行水

川井武彦

川井武彦

川井武彦

川上澄子

川上澄子

川上澄子

ミンミンと 木影で休む 虫と一緒に

川瀬孝輔

海や山 自然に囲まれ さどがしま

キョウリュウ

生命を 守ろうこの手で 世界中

清少涼言

草刈って ザリガニも切る 虫のため

吉良裕紀夫

虫たちも 田んぼですずむ 真夏かな

吉良裕紀夫

さあどうぞ 島民が呼ぶ 佐渡の島

配り屋独歩

佐渡おけさ 鼻歌止めた カンゾウ群

郷園和明

たらい舟 去りて夕陽に 海染まる

郷園和明

芭蕉詠む 荒海削る 尖閣湾

郷園和明

色々な 田んぼの中に 白い鳥

小嶋美柚

佐渡が島 新潟の誇りの トキがいる

後藤碧月

トキが舞い 幸せひたる 我が歳

後藤昭

トキ増やし 空屋も増る 我が部落

後藤昭

古き美田 アワダチソウに 乗取られ
生きものが 過ぎしやすいと 佐渡島
鳴き声で 正体バレる サドガエル
冬の朝 きらきらかがやく うみととり
つばめ鳴く 季節感じる しらせかな
人類が 進めてきたのは 自然破壊
立ち上がれ トキの未来を 守り抜こう
目をとじて 聞こえてくるのは 自然の声
愛してる トキ飛びまわる 佐渡島
海とトキ 海の波から 羽ばたくトキ
島地域 魚へ来いと 言ってみた
悠々と 大空泳ぐ 佐渡の朱鷺
夏の夕 畦に残る 「とき(朱鷺・時)」の跡

小濱加一郎

小林健二

小林健二

小林咲喜

小林咲喜

○×△□☆☺

Bob

Hey 曜日

HY

M

O.R.

ruru

RyUP

佐渡のトキ 昔はもっと いたのにな

T

佐渡の海 どの海より とうめいだ

wakana

佐渡の空 ときがたくさん 飛んでいる

wakana

佐渡ヶ島 たくさんあるよ みりよくがね!

wakana

鳴き声で チヤホヤされぬ サドカケス

アカエタカ

絶滅の アライト消えぬ 佐渡の朱鷺

アカエタカ

絶やさずに 命を繋ぐ サドウサギ

アカエタカ

澄んだ空 大きく羽ばたく 佐渡のトキ

あざらし

新幹線? スピードMax! 佐渡のトキ

阿部環

イカカニと 食べてイカニも 佐渡食通

あべっち

獲れたての イカには負ける 身の白さ

あべっち

パリ五輪 目指し練習 イカ泳ぎ

あべっち

柿の味 忘れられない ばばの顔

あんずあめ

魚たち 君たちの輪に まぜとくれ

いいんちよ

虫たちよ ここで育って よかったか!!

池田五三男

佐渡のトキ 白く美しく 飛んでいこう

石井優斗

守りたい みんなのふるさと トキの島

いす

水あてる はやるドジョウ トキのあと

猪瀬充次郎

佐渡に行き 見にいった朱きは 可愛かった

岩城妃夏

この虫は あの日逃がした 子の子孫

岩中幹夫

海に山 自然豊かで オツケーさ

ウエイト

あきつしま 自然あふれる さあどうだ

ウエイト

佐渡景色 砂金を越える 美しさ

小山朋夏

繁殖の 時^{トキ}を見守る 自然界

これでヨシト

海の幸 佐渡の自然を 守り鯛

これでヨシト

気兼ねなく 生きる生き物 生き生きと

これでヨシト

佐渡に行き 自然満喫 ソロキャンプ

さいがわW

田んぼへと 蛙^{かわず}飛び込む 水の音

さいがわW

砂浜に 散らばってるのは 青の宝石

サイトウ

トキのひな 小さな体で 舞い降りる

斎藤新

生物を 飼ったら自分に 責任あり

齋藤晴

ちら見する シュシュに西陽の たらひ舟

赤塚直久

おけさ舞ふ 郷によこたふ ほたる火の

赤塚直久

前浜や 四季の旭や 君破顔

種

前浜や 絶佳に凝^{こご}るや 血潮映ゆ

種

生き物は みんな友達 仲間たち

にじのいろ

愛らしい 子犬のように トキが鳴く

松下弘美

ドンデンで 水飲むミサゴと ならみ合う

松田龍彦

長い時 人の思いに トキ応え

秋野菜

いただきます 米、魚、柿 おいしいな
朱鷺色の 翼大きく 空を駆る
晴れた日に 島影望むは 佐渡島
残さない 「米一粒に 神一人」
格別な 我が県がほこる 佐渡のカニ
魚つり タイをねらって アジ一匹
海の幸 きらきら輝く 海鮮丼
親近感 トキの短い 首と足
開発に ブーイングする サドガエル
隠れるの 上手いドジョウも 政治家も
窓開けて 血を吸い生きる やな羽音
悠長に 泳ぐドジョウは トキのえさ
空の上 赤きトンネル トキ入る

齊藤日胡
斎藤真緒
斎藤真緒
斎藤真緒
斎藤里佳
魚子
さくら
さごじょう
さごじょう
さごじょう
皐太郎
佐藤
佐藤慶汰

新潟の 自然の宝庫 佐渡島
佐渡の空 どこまでも空 トキが舞う
千枚田 キャンバスにして 鍬を振る
自然など 食事だけは 佐渡でしょ
自然とは 佐渡でしょ佐渡 美しき
佐渡について 言うことばなし 美しき
米作り 夫婦仲良く 喧嘩して
弱いもの 強いものには 負けてゆく
しぜんはね こわしてはダメ たいせつに
コロナ禍に 変わらぬトキの 美しさ
つがいのトキ 仲睦まじく いい夫婦
我が田圃 トキのつがいが えさをとる
朱鷺でなく 歌いたくない コロナかな

佐藤慶汰
サネカズラ
サネカズラ
サネカズラ
ザハランアミール
ザハランアミール
ザハランアミール
三郎
サンタ
自然大切
しなやかーる
しなやかーる
信田光武
信田光武
信田光武

目をつぶり 耳をすますと 虫の音
海や森 みんな生きてる 守ろうよ
見てみたい 空にただよう ときの姿
田んぼから かえるの鳴き声 響いてる
魚たち 海でおよぐの 楽しそう
白日の 大空届け 彼の鳥よ
渡り鳥 佐渡はみんなの リゾート地
サギを見て トキを見たよと 都会人
存在が 金メダルです 佐渡の朱鷺
コロナ下の 小さな花火 サドアザミ
今年の田 出来はどうかと サドガエル
保護しよう トキが再び 飛ぶために
今来たと 顔を並べる つばめかな

しゃーた
初代プリキュア♡
しらたこ
神保葉月
鈴木結心
セト
そめい
そめい
だいちちゃんZ!
だいちちゃんZ!
だいちちゃんZ!
高橋
高柳光雄

カエルとぶ 他より高く 記録達成
悩むより 今日を生きよと 蝉が鳴く
田作りを かげで見守る サドガエル
トキと田に 恵みもたらす ハシリグモ
海の風 祖母の笑顔を 思い出す
金銀に 親近感わく ジオパーク
金銀の 鉱脈光る ジオサイト
時戻す 時々トキに 会いに行く
トキの朱^{あか} 夕陽の朱^{あか}に とき消える
もう二度と 絶やすな空の トキの白
農薬を 減らして増える 生物の楽園
ひと休み 日かげにあつまる 虫たちも
曇空 自然と気分 落ちていく

高柳光雄
高柳光雄
高柳光雄
たけ
たけ
たけ
田中こころ
たぬき親父
たぬき親父
たぬき親父
ちがさき
張三李四
土屋昌志
土屋昌志
土屋凜央

トキがいる それだけで佐渡 ときめくよ
これからも 守っていこう さどのトキ
佐渡の地に ときめきドキドキ トキの舞い
見どころと 魅惑満載 ジオパーク
光差す 金鉱脈と ジオパーク
トキを見た きれいな羽を はばたかせ
とぶちようと ならんで歩く 帰り道
光っている トキのひとみと 佐渡の金
稲穂には 大海原の 塩ニギリ
固有種の 多き佐渡住む 私もか
朱鷺色の 空と海辺と 染まる顔
次こそは 世界遺産に 佐渡金山
おけさ柿 おいしかったと 海鳥が

つばみ

手嶋太一

てぬき親父

てぬき親父

てぬき親父

テン10

トキ

トキ丸トキ太郎

どこにでもいる田中

どこにでもいる田中

どこにでもいる田中

ドックマン

ドックマン

数多く 自然があります 佐渡

ドックマン

生き物に やさしくしよう みんなもね

ドンオーニング

離れても 時には朱鷺を 思い出し

中原政人

多様性 二刀流です 島と海

中原政人

たんぽぽの 綿毛を子犬と 追う子供

中原政人

守りたい 赤い模様の 鳥たちを

中村

癒される 佐渡の自然と 生きものに

なきうさぎ

もう一度 訪ねてみたし 佐渡の海

なきうさぎ

佐渡に住む 人も自然も あたたかく

なきうさぎ

飛んでいる きれいなものは トキだった

新潟人

金山に 佐渡の宝が ねむってる

新潟人

佐渡の柿 普通の柿と ちよつと違う

新潟のレジスタンス

トキふえて 見える場所が 近くなり

野田政好

金山と トキがいるよ いいところ

のののの

ばあちゃんが 家の天然記念物

ハイ爺

佐渡ヶ島 トキの鳴き声 聞こえるよ

花房柊

マナヅルとナベヅル仲良く 冬を越す

馬場和義

時重ね 巣立ったトキに ときめいて

馬場和義

サトモグラ コロナで地上と デイスタンス

馬場和義

サドガエル コロナよ帰れと うなってる

馬場鈴代

サドノウサギ 耳立てコロナの ニュース聞く

馬場鈴代

コロナいや 「NO」と言ってる サド「NO」ウサギ

馬場鈴代

アイガモと 水稻育つ すくすくと

パピヨン

つかまえた 広いはらっぱ デカイナゴ

ハマダ

荒波に 今日も耐えてる 夫婦岩

隼人

コロナ明け 朱鷺色ゆかし 春を待つ

隼人

偉大だな 歴史が残る 佐渡金山

ハリボー

さどいがい あまりみれない さどのとき

ハルト

佐渡のトキ 飛んでおいでよ 海をこえ

ピノ

木を切って 生き物の居場所が 無くなっていく

広瀬未希

野原にね トキが飛んでる 美しい

廣田ここな

金山は とても大きい すばらしい

廣田ここな

とつきき 見守ってるよ とつきき

ひろゆき

田んぼでも 見れるといいね トキのこと

ぷいぷい

不揃いの おにぎり僕の デビュー作

ぷーちゃん

たらい船 輝く水面 まぶしくて

ぷーちゃん

トキが舞い 棚田に空を うつしとり

ぷーちゃん

チヨコ落とす 次の日来たら アリのすが

福田倖大

佐渡巣立ち トキが軽々 海越える

フクラギ

縄張りを 争うトキと コウノトリ

フクラギ

生態系 トキの育ちが いい指標

フクラギ

固有種が 背中で見せる 生きる様さま

船谷榎山

座禅草 洞ほらにおわす 仏様

船谷榎山

まゆばけに 似たるといえど サドアザミ

船谷榎山

日本一 ここのお米は うますぎる

古川原帝臥

白いトキ 佐渡の自慢だ ステキだな

ブロッコリー

佐渡に来て トキが出迎え うれしいな

北斗

虫の声 蔓延佐渡の 秋楽し

北斗

自然とね 助けあおうね 生物と

星野心

動物と ともにいきよう どこまでも

星野心

トキと木と 豊かな自然 きれいだな

ホソガイ

全員で 二酸化炭素 減らしましょ

ほっでん

トキめいて 虹の空へと 放つ朱鷺

ほのぼの

朱鷺放鳥 囲む笑顔の 爺セブン

ほのぼの

金の場所 教えておくれ サドモグラ

ほのぼの

新米に ほった落ちる 佐渡の秋

ほり・たく

納税で 届くふるさと 佐渡の幸

ほり・たく

ワクチンを 打って安心 サドカエル

ほり・たく

トキがいる すがたなくても わかる声

本間聡

さどがしま 自然がいっぱい たのしいなあ

マイク

葉の緑 上から眺める 金銀山

マエダンス

空と海 自然が生み出す 佐渡の色

増田美咲

釣りの途中 かすんで見える トキの里

松永洸希

トキたちに おいでおいでと 声かける

マッピング

トビごとく 頭上舞うトキ 誇る島

まびまび

島案内 トキに尋ねる 絶景を

まびまび

遠足の 声も消される トキの島

まびまび

たらい舟 海の生き物 観察会

豆助

巣立つトキ 我が子母性で 見守る目

豆助

はしゃいでる 虫と子供に 目を細め

豆助

佐渡が島 自然がたくさん きれいだよ

丸三角

相性 広い心で 棲み分ける

みい

縄張りを 互いに守り 手を結ぶ

みい

生きものは 協調して 同居する

みい

夜散歩 我が身を包む 星あかり

三浦ゆず

大切に 自然という名の 命を

みかん

身近でも トキと息子の 声貴重

三木首相

コロナより ミミ生きもの 佐渡は先

三木首相

トキが舞う みなが守って きた自然

三毛猫

四季ごとに 変化景色と 佐渡の味

三毛猫

冬の佐渡 おいしい食事 美味しい酒

三毛猫

有名な 金から朱鷺へ 変わる佐渡

みどり人

佐渡島 豊かな自然 朱鷺戻る

みどり人

島だけに 希少生き物 生息し

みどり人

フェリーから カモメにえびせん おいしそう

宮山俊介

行きたいな トキがいる島 さどがしま

ミルキー

種うえを している頭上に トキが舞う

室橋優太

大自然 心のいやし ありがとう

メガネっ子

冬ごもり 朱鷺のゆくへを しばし追う

もふもふ

佐渡時間 生き物たちの たからもの

もふもふ

稲穂から バッタ飛び出す 畔散歩

もふもふ

生き物が ゆるく共存 さあどうぞ

矢野龍王

川遊び よごれてごめん 魚たち

山

おれでいる トキとおもえば サギだった

山田佐久

ドジョウは いっぱいいるが トキはこず

山田佐久

夕日浴び 羽ばたくトキが 朱に染まる

山田由利奈

トキめいた 人も自然も 穏やかで

ゆうたんママ

佐渡島 虫と共生する 暮らし

ゆうたんママ

「イイね」つく 映える夕日が 染みる島

ゆうたんママ

夏が立つ 佐渡の棚田の 草いきれ

ゆうゆう

夜の川 きらきら光る 多くのほたる

ゆず

田んぼの植え トキはばたくのは 佐渡だけだ

吉岡紗良

サドカケス 干し柿狙って ひそんでる

吉田さをり

大自然 残していこう これからも

ヨネさん

生きものは 佐渡の翼に いだかれる

らくちゃん

ただひとつ 命育む 水の星

らくちゃん

命生む たったひとつの 青い星

らくちゃん

佐渡市はね 自然がゆたかで 美しい

陸

田に映える トキの朱色が 夏の日に

若山万綸

元気出る 佐渡の自然の 優しい笑顔

若山万綸

自然には 珍しい虫 いっぱいだ

鷺尾美紅

海のゴミ 魚や生きもの キズつける

渡辺晴星

虫のこえ だんだん遠く なっている

渡辺晴星

セミたちの 声きこえるが 姿なし

渡辺璃桜

海原に 小金こがねとトキの 浮かぶ島

渡部公正

共生と 爆音とどろかせ トキがとぶ

渡部公正

草刈に アブが近寄り あぶないな

渡部義雄

股ずれの 痛さこらえて アユを追う

渡部義雄

田植え済み 生物調査 コイ探し

渡部義雄

クモの巣を 破り進める 調査かな

渡部義雄

どんぐりを コロリ転がす 佐渡の風

井内雅仁

落ち葉にも 優しく濡らす 佐渡時雨

井内雅仁

母の手を 引いて介護の 佐渡絵巻

井内雅仁

自然の田 鳥や生き物もの 生かされる

雨かたつむり

生きものと 人の共生 理想の地

雨かたつむり

時鮭に 負けるな佐渡の トキと鮭

黄金虫

新種でも 絶滅危惧種 トキのえさ

黄金虫

里帰り する人を待つ サドガエル

黄金虫

飛ぶ朱鷺と 同じ色だね 西の空

下春雄二

飛ぶ姿 優雅 あざやか 朱鷺の色

下春雄二

おトキ婆^{ばあ} 同じ名前に 嬉し顔

下春雄二

朱鷺の島 田んぼの中に 多様性

海瀬安紀子

この竹の ルーツ辿れば 佐渡にあり

海猫

アキアカネ 誕生までの ミニドラマ

海猫

田に畦に 今宵限りの 虫の声

海猫

父と子が いごねり食べて 囲碁を打つ

絵のイルカ

金メダル サドノウサギも 跳び跳ねる

絵のイルカ

佐渡のこと 深掘りしたい サドモグラ

絵のイルカ

果物の せいだと言って 妻太る

角森みゆき

サドガエル 帰省できる日 待ち望む

角森みゆき

干されたら いい味だします 俺とイカ

角森みゆき

サドガエル 自慢の喉に 金メダル

角森多久哉

レッドでも お腹はイエロー サドガエル

角森多久哉

米作り 田んぼの生きもの 密がいい

角森多久哉

ズワイガニ 食べてる妻は 全集中

角森玲子

お肌なら スベスベ妻と サドガエル

角森玲子

国民の 郷愁そそる 佐渡の里

梶田美保

フェリー降り 佐渡のカケスに 迎えられ

岸保宏

ホーネンと^{豊年} 棚田で合唱 サドガエル

岸保宏

ニッポンの 五輪のユフォーム トキ模様

岸保宏

大切に 育てた稲は 味いーね

気まぐれしん

大自然 守るために さあどうする

気まぐれしん

食や伝統 たくさん宝 見つかる佐渡

気まぐれしん

生き物も 人もふるさと 佐渡誇る

宮のふみ

カエルにも 虫にも合わせ 歌う爺

宮のふみ

歌カエル 踊りは苗の コンサート

宮のふみ

トキの舞う 棚田いのちの 揺り籠に

牛島忠弘

佐渡の旅 娘インスタ 妻まぶた

減点パパ

酔いしれる トキと金山 人情味

減点パパ

佐渡に酔う 妻は絶景 僕地酒

減点パパ

竜宮の 使者もとらえた 定置網

光源氏

竜が住む!? 島の固有種 サド土竜^{もぐら}

光源氏

青い灯で 渚を染める ウミホタル

光源氏

トキが舞う 自然を守る 人が居て

好日郎

酔いどれに トキが教える 赤い顔

幸田

ジオパーク シーカヤックで ウオッチング

今ゆうよ

トキが舞う 大地に舞い降り ときの声

今ゆうよ

ときキレイ 海岸キレイ 人キレイ

今ゆうよ

佐渡が好き 春夏秋冬 ニッポニア

佐太郎

海風に 山風に佐渡 育まれ

佐太郎

今朝もまた 棚田の鏡で 化粧する

佐太郎

羽ばたける トキコロナ後を 見せている

細江隆一

優雅なる トキに反省 あくせくさ

細江隆一

佐渡はトキ 代名詞なる 令和かな

細江隆一

サドウサギ 追いしふるさと 夢に見る

三太夫

本土とは 固有種守る デイスタンス

三太夫

田んぼから 聞こえる優しい サドガエル

三太夫

守りたい 棚田は朱鷺の 滑走路

山野さち

財産は 地中に眠る サドモグラ

山野胡桃子

値も跳ねる 揚がる寒ブリ 生きのよさ

紫苑

鶺鴒色の 里に黄金の コシヒカリ

紫苑

ブラックも 企業ダメだが イチジクは

紫苑

カンゾウに 佐渡へ佐渡へと 風の中

小見伸雄

佐渡自然 素朴の向こう 密がある

小坂武弘

知恵出せば 田んぼも虫も 生き返る

小坂武弘

朱鷺の声 気持ちいいほど 温かい

小坂武弘

住みやすい 佐渡では人も 生きものも

小松真人

我が家にも 子宝運ぶ コウノトリ

小松真人

インスタに 映える夕日と ウシガエル

小松真人

田んぼ道 サギが蛙を つまみ食い

澄海

用水路 ヘビがクネクネ これも佐渡

澄海

農道を カメが横断 待つクルマ

澄海



「認証米の米袋に貼るシールのデザイン」

渡邊寿幸

イラスト川柳部門 応募作品

吉村はづき



三郎



下野ケンジ

フォト川柳部門 応募作品

山本佐智子



恋心 夕日に映える 朱鷺の羽



遥々と 朱鷺に恋して 旅をする



見つけたよ 田んぼの中の 朱鷺しるべ

エッセイ部門 応募作品

「佐渡でわくわくバードウォッチング」

日本海に浮かぶ小さな島、佐渡は野鳥の宝庫です。四季を通じて豊かな自然に恵まれ、珍しい野鳥を観察することができます。まさにバードウォッチング天国です。佐渡の国中平野には、朱鷺や鷺を始め世界中から珍しい渡り鳥が舞い降りてきます。オジロワシやハヤブサなども見ることができるので、佐渡には日本全国から多くのバードウォッチング愛好者が訪れます。バードウォッチングは天候やその時のタイミングが大きく左右するので佐渡に住む友だちに野鳥スポットを教えてもらい、場所や時間などねらいを定めて待ちます。だからこそ珍しい野生の鳥に出会えた時の喜びは格別です。最近では里山でも朱鷺を見かける機会が増えました。それでも必ず会えるというものではなくほんとうに運としか言いようがないほどです。今はコロナ禍でなかなか佐渡にバードウォッチングに行く機会がありませんがコロナが落ち着いたらまた佐渡に野鳥を家族で見に行きたいと思っています。

今北眞奈美

「五歳のとき黒い鳥が屋根裏に巣を作ったの。父が『きつと何かいいことがあるぞ』と言うから期待してたの。そしたらー」

雛が壁の隙間に転落、救おうとして親鳥まで落ちてもがき始めた。救助してやろうとあれこれ試しているうちに親子は一階の天井裏に移動し、やがて物音一つしなくなった。

「天井裏に散乱した糞と死骸の腐臭で一階の和室はもう十年近く使ってないの。まるでサギにあつたみたい」と笑う少女に、私はその鳥も恩返しをしたのだと思う。鳴き叫ぶ鳥の親子も少女の生き物への優しさ（セーラー服を血に染めて車に轢かれた犬を抱いてきたことがあつた）を育んだに違いなかったから。

ちなみに少女の父は佐渡を中心にトキの生態調査をしている研究員で、「佐渡の民話『鶴女房』と佐渡の人のトキにたいする愛情とは同じ根っこですよ」と語る人だ。

三郎

生物多様性ポイント④

「トキの野生復帰」

昭和56年、野生トキ5羽の一齐捕獲から27年が経った平成20年9月、佐渡の空にトキが再び飛び立ちました。

平成24年には放鳥したトキからヒナが誕生、平成28年には野生生まれ同士のペアから純野生のヒナが誕生しました。

毎年2回の放鳥と、野生下で生まれたトキを合わせ、令和3年12月31日現在、野生下には約478羽（推定）のトキが生息しています。



まだまだこれからじゃ！

その他部門 応募作品

フォトキャッチコピー
「佐渡の食卓」「佐渡の海」



あきしげる

守る

「生物多様性の損失を食い止め佐渡本来の生態系を回復する」

私たちは生活の安全性や効率化のもとに様々な開発を進めてきました。結果、佐渡各地の自然環境に依存し生息していた在来の生物は住みかを失い、その個体数は減少してきています。今後、生物との共生を図る整備を進めなくてはなりません。

また、佐渡には本来生息・生育していなかった生物が持ち込まれ、佐渡固有の生物相と生態系に対する大きな脅威となっています。深刻化する前に、適切な対策を実施し、生物多様性の損失を食い止めなければいけません。

佐渡市の取組み

- ・在来種の保全・保護
- ・生態系に悪影響を及ぼす生物への対応強化
- ・多様な生物が生息・生育できる環境の保全・再生

使う

「生物多様性の恵みを持続的に享受する地域社会を構築する」

佐渡はG I H A S（世界農業遺産）に認定されました。佐渡の農村文化や伝統芸能、里地・里山の美しい自然景観を次世代へ継承していくためには、持続発展的な農業農村の活性化が最重要課題となっています。

佐渡で育まれる生物多様性の恵みを持続的に享受しながら、活力ある経済・社会活動を実施し、若者が定住・定着できる社会づくりを行っていくことが現代の私たちに求められています。

佐渡市の取組み

- ・環境と経済が好循環する産業の育成
- ・環境負荷の少ない循環型社会づくりの促進

「トキと暮らす島 生物多様性佐渡戦略」より 詳しい内容は、佐渡市ホームページまたは冊子をご覧ください。
トキと暮らす島 生物多様性佐渡戦略 <https://www.city.sado.niigata.jp/admin/vision/biodiversity12/pdf.shtml>



生物多様性佐渡戦略

【基本理念】

生物多様性が育む佐渡の豊かな自然と暮らしを保全・再生する

佐渡で暮らす私たちと多くの生きものが共生する環境は、長きに渡り培われてきた豊かな自然、歴史、文化について市民一人ひとりが「知る・守る・使う」ことによって、保全・再生されるものです。

この「知る・守る・使う」に対応した3つの基本目標を設定し、積極的に推進する施策を定めています。

知る

「佐渡の生物多様性豊かな環境を市民一人ひとりが理解する」

私たちの健康で豊かな生活は、自然から多くの恩恵を受けている事を自覚することが大切です。将来に渡って佐渡の生物多様性豊かな環境を保全・再生していくためには、まず、私たち一人ひとりが佐渡の環境について十分理解し、後生に渡って継承していくことが必要です。

佐渡市の取組み

- ・生物多様性に対する市民理解の促進
- ・組織・団体間のネットワークの構築
- ・企業CSR活動の参画促進
- ・大学等との連携による人材育成の促進

自分が出来る範囲で
やってみるのじゃ！



編集後記

2021年度も引き続きコロナ禍によって、これまでの日常が失われた一年になってしまいました。それでも新しい生活様式を模索し、学校の授業や会社の仕事、はては旅行さえもオンラインで行う商品が出てきました。「移動時間がないから楽」という声や「やっぱり会って話したい」という声もあり、一長一短あるようですが、世界は確実に変わってきています。

佐渡生きものの語りの応募作品でも、昨年よりいっそう「コロナ」を意識した作品が増えています。イラスト川柳部門の準グランプリ作品は、たらい舟にサドガエルを乗せ「密さけて、マスクはずして」と詠んでいます。

ただ、感染拡大防止に留意しながら、今年度は交流活動も一部行われ、田んぼアートの草とりイベントに参加してくださった新潟市近郊の消費者の方たちに佐渡生きものの語りをPRしたところ、いくつかの作品をお寄せいただきました。その中の一作品はみごとノミネット作品（優秀作品）に選ばれました。

また、新潟市立五十嵐中学校の先生と生徒さんが国語の授業の中で佐渡生きものの語りに取り組んでいただき、寄せられた129作品のうち、やはり一作品がノミネット作品に選ばれています。

全ての応募者の皆さんの中には、佐渡を訪れたことがない方もいらっしゃるかもしれません。それでも佐渡や認証米のこと、生きもののことなどを調べて、思いを膨らませて作品を作り上げてくださいました。「佐渡生きものの語り」が、佐渡の素晴らしい取り組みを知っ

ていただくきっかけの一つになっていれば幸いです。

今年も最優秀作品の選考方法として、昨年同様にノミネット作品への人気投票は認証米農家さんと金井Aコープ内「よらんか舎」来店者、羽茂Aコープ来店者にお願いしました。特に認証米農家さんに応募作品を見ていただくことは、佐渡生きものの語りを一緒に紡いでいくために、コロナ禍が収束しても続けたい投票方法です。

今年も作品をお寄せくださった方々、審査や人気投票に協力してくださった方々、本当にありがとうございました。

一般社団法人 佐渡生きもの語り研究所
理事長 仲川純子

佐渡生きもの語り2021	
川柳部門	437作品
イラスト部門	2作品
イラスト川柳部門	5作品
フォト川柳部門	3作品
エッセイ部門	2作品
その他	1作品
合計	450作品

佐渡生きもの語り 2021 作品集

発行日 2022年 3月

発行 佐渡市・朱鷺と暮らす郷づくり推進協議会

イラスト Kanako（ドクタイキモン）・「トキと暮らす島 生物多様性佐渡戦略」

写真 齋藤真一郎

お問合せ先 〒952・0103

佐渡市新穂潟上1101・1 トキ交流会館2階

一般社団法人 佐渡生きもの語り研究所

TEL 0259・22・2658 (FAX兼)

<https://sado-ikimonoken.jp>

E-mail : ikimon@sado-ikimonoken.jp

ノミネット選考委員（順不同・敬称略）

大石惣一郎 佐渡棚田協議会 会長

澤栗浩明 環境省 佐渡自然保護官事務所 首席保護官

本間龍策 JA羽茂 組合長

中川克典 佐渡市役所 農業政策課 課長

渡部学 朱鷺と暮らす郷づくり推進協議会 会長

大井克巳 一般社団法人 佐渡生きもの語り研究所 理事